

# 地域と学ぶ ⑩

山形大学地域教育文化学部

宮沢賢治の童話を原作とした「どんぐりと山猫」というオペラがあります。本学部のOBである長谷部裕介君が、大学院在学中に修了作品として完成させたオペラです。裁判官としては無能なのに、体裁ばかり気にしている山猫が、どんぐりたちのけんかを治めるために、一郎少年の知恵を借りて裁判を進めていく場面が楽しく描かれ、賢治が描く独特な世界観を巧みに具現化した作品となっています。

音楽(声楽・合唱・オペラ) 藤野 祐一 教授

「つばたん」など、子どもから大人まで楽しめるオペラをレパートリーに加え、近隣の小学校、幼稚園などに赴いてオペラ公演を行っています。

一昨年は最上町の町制施行60周年記念式典に招待演奏の依頼を受け、上演する機会もいただきました。オ

ペラ公演では毎回キャストやスタッフが入れ替わりますが、そのたびに少しずつ工夫が加えられ学生の成長を感じることができ

ます。山形八小は、山形大から歩いて10分程度の近距離にありますが、体育館での訪問演奏では、子どもたちと

学生が触れ合う場面があり、素晴らしい交流が生まれます。「きれいな声だった」「迫力があった」「どんぐりのしぐさが面白かった」などの子どもの声

が直接届く機会は、学生にとっても大きな刺激であり励みにもなっています。このオペラの訪問演奏に向け

## 訪問演奏準備過程が大切



▽1952年生まれ、天童市出身。山形大着任は87年。



ての準備は数カ月を要しますが、舞台セットの準備、練習スケジュールの立案、鑑賞する年齢に応じた内容構成など、課題解決のために学生同士で力を合わせていく過程こそ、「地域の音楽リーダー養成プログラム」といえるでしょう。

11月1回掲載します

山形八小で上演した「どんぐりと山猫」の一場面

11月2013年10月